

記者発表（資料配付）				
月/日 (曜日)	担当課（室）	T E L	発表者名	配布先
令和元年 9月10日 (火) 14:00	兵庫県立大学 産学連携・ 研究推進機構	079-283-4560	産学連携・研究推進機構長 山崎 徹 (副機構長 長野 寛之)	兵庫県政記者クラブ 播磨経済記者クラブ
	工業振興課 ものづくり支援班	078-362-3334	工業振興課長 馬場 弘明 (副課長兼ものづくり支援班長 繁田 博文)	

金属新素材研究センターのコンソーシアム、キックオフセミナーの開催

本年4月、兵庫県立大学姫路工学キャンパス内に金属新素材研究センターを開設しました。このたび、センターの開設にあわせて、先進技術を持つ企業・研究機関と兵庫県立大学の産学官連携により、研究・開発、技術支援・普及活動に取り組む推進組織となる「ひょうごメタルベルトコンソーシアム」を設立いたします。

今後、このコンソーシアムを中心に、地域の強みである金属新素材製造・加工分野での産業の高付加価値化をより一層推進いたします。今回、今後のコンソーシアムの活動に即した実践的な内容のキックオフセミナーを開催することとしました。

1 日 時

令和 元年 9月17日 (火) キックオフセミナー14時10分～17時30分
交流会（別途参加費要）17時40分～19時

2 場 所

姫路商工会議所（住所：姫路市下寺町43）701号室 （※交流会702号室）

3 スケジュール

- (1) キックオフセミナー（内容は予定） 14時10分～17時30分
- ① 兵庫県立大学のシーズ紹介
 - ア) Ni合金およびステンレス鋼の3D造形とその組織と力学的性質
金属新素材研究センター 研究部長・教授 鳥塚史郎
 - イ) アモルファス合金、金属ガラスの特性とその応用
金属新素材研究センター 研究員・准教授 網谷健児
 - ② 金属3Dプリンタの活用とコンソーシアムの対応
 - ア) ハイブリッド金属3Dプリンタ LUMIX Avance-25（レーザービーム型金属3Dプリンタ）
株式会社松浦機械製作所 シニアチーフ 加納佳明氏
 - イ) 電子ビームを用いた積層造形装置 多田電気株式会社 常務取締役 宮田淳二氏
- (2) 交流会 17時40分～19時
(内容：名刺交換会等 交流会参加費：3,000円)

4 参画企業数

約 60社

5 その他

- (1) コンソーシアム入会及び会議の申し込みについては、下記まで問い合わせください。

6 問い合わせ先

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 TEL：079-283-4560
産業労働部産業振興局工業振興課ものづくり支援班 TEL：078-362-3334

金属新素材研究センターの概要

兵庫県は、阪神から播磨の瀬戸内海沿岸を中心に、全国有数の金属素材製造・加工企業が集積し、「ひょうごメタルベルト」を形成している。

これら産業の高付加価値化を図るため、新素材の研究・開発を行う拠点として『金属新素材研究センター』を整備した。金属用 3D プリントの導入・活用が困難な中小企業を支援するため、先進技術を持つ企業とも連携し、産学官連携による技術支援に取り組んでいく。

1 施設概要

①電子ビーム式金属用 3D プリンタ **初の国産機を導入**

- ・ニッケル、チタン、銅などの高融点、高熱伝導の金属を対象
- ・メーカー指定以外の金属材料を利用して、造形を確立していく

②レーザービーム式金属用 3D プリンタ

- ・「3D造形」と「切削加工」を組み合わせたハイブリッド型
- ・マルエージング鋼、ステンレス鋼、コバルトクロム、アルミニウムなどを対象

③合金作製装置／粉末作製装置

- ・ワンストップでの材料製造が可能な日本初の設備
(高周波溶解装置、アーク溶解装置、ガスアトマイズ装置で構成)

④分析装置

- ・材料や製品の微小領域の表面観察、組成分析に対応

2 体制

① 県立大教員(3人)が工業技術センター研究員を兼務
(センター長、企画部長、研究部長)

② 東北大学金属材料研究所准教授をクロスアポイントメント制度^(※)で配置(週 1 日、材料作製担当)

③ 民間出身の技術者をリサーチ・アドミニストレーター、コーディネーターとして配置

(※研究者が大学などで二つ以上の機関に雇用されつつ、それぞれの機関で研究・開発に従事する制度)

3 利用方法

① 企業のニーズ・スキルにあわせてトライアンドエラーが可能な方式と、中小企業が利用しやすい料金(共同研究、材料費等の実費)により、技術力の向上を支援

② 工業技術センターのテクノトライアル、共同研究などと申込様式を共通化し、利用手続きを簡易化

③ コーディネーター等が、利用企業のニーズをヒアリングし、工業技術センターの機器も含めて、最適な手法を提案

4 ひょうごメタルベルトコンソーシアム

先進技術を持つ企業・研究機関と兵庫県立大学の産学連携により、研究・開発、技術支援・普及活動に取り組む「ひょうごメタルベルトコンソーシアム」を設立する。今後、このコンソーシアムを中心に、地域の強みである金属素材製造・加工分野での産業の高付加価値化をより一層推進していく。

①コンソーシアムの活動

- ・川上から川下までの金属関連企業の連携・マッチング
- ・共同での新技術開発(材料、プロセス)、人材育成
- ・研究者・技術者による共同研究会・セミナー
- ・材料調達・商品化支援などの企業間連携

②大企業から中小企業までの幅広い参画

- ・材料開発、加工・分析、製品製造の各分野で幅広い参画を得る
- ・参画企業 約 60 社(令和元年9月現在)
(山陽特殊製鋼(株)、虹技(株)、多田電機(株)、佐藤精機(株)、兵庫ベンダ工業(株) など)

